



くまニュースVol.8 ヒグマシーズンも最終盤へ。

8月ももう後半。沼巡りコースでは所々で気の早い植物達が葉の色を変え始めたかと思えば、標高1200mの高原温泉でも8/24には33℃を記録(高原山荘での過去最高気温だそうです)するなど夏の名残がまだ辺りを取り巻く、そんな季節の変わり目です。

7月中、高根ヶ原斜面で見られるのが当たり前だったヒグマ達。巡視の際の近距離遭遇にはさすがにたじろぎますが、一定の距離を保って見られる親子や採餌するヒグマ、沼を泳ぐヒグマ等が観察できる日々は、一般的な人間の生活圏で暮らしてきた巡視員達にとってやはり非日常であり、感動に溢れていました。

そんなヒグマ達も8月に入り見られる数はグッと減り、8月20日に高根ヶ原斜面で遠くに見られて以降、その姿を沼巡り登山コースでは確認が出来ていません。(8月29日空沼にて単独1頭確認) 大学沼周辺に停滞していた親子もいつの間にかやらその周辺では見られなくなり、8月25日には約2か月振りに沼巡り登山コースもコース制限を無くし1周コース開放となりました。

長らく続いたコース制限がなくなるのは嬉しい反面、高根ヶ原斜面のヒグマ達が見えなくなり“ヒグマロス”の巡視員もチラホラ...餌が森の木の実などに移行していく端境期。ヒグマの季節の賑わいは落ち着き、沼巡りコースはいこれから来る紅葉シーズンの賑わいを前にひと時の静けさが訪れている、そんな感じです。



8月20日。高根ヶ原斜面に見られた単独のヒグマ。これ以降、目撃情報がありません。(8/29目撃あり)



7月はびっしりクマの目撃情報が...



8月になると目撃もめっきり減ってきました...

確認数はぐっと減るものの、やっぱりコース内に住んでいるヒグマ



さて今号沼巡りNEWS No.7を発表しようとしていた矢先、「クマがいました！」との報告がヒグマセンターに…。ヒグマが減ってきたという内容で左記のように発表しようと思っていたら…。というわけでこちらで補足を。

私たちの目に映らないだけで、ヒグマはコース内に住んでいます！ 餌の移行に伴って移動しているクマもいますが、コース内の人の目に映らないところの餌を食べているクマもいます。今後も出没状況によってはコース制限がかかりますのでご注意ください。記事の訂正をこちらでしたのは決して楽しようとしたわけではありませんよ(汗)

沼巡りコース 登山道の整備



今年は特に大学沼周辺のヒグマ達の停滞や近距離遭遇の影響もありコース制限が長引きましたが、その間も登山者が歩けるコースは勿論のこと、制限がかかり登山者が通れなかったコースにも巡視員は入り、コースを覆っている植物の刈払いや木道の補修、新たな木道設置などを進めています。

巡視員は見た! ~高原沼・謎の遊泳生物~



8月21日。高原沼を泳いでいた生き物。一体この動物は...?

8月21日。巡視員が高原沼を遊泳する生き物を確認... 高原沼を泳ぐ生き物としてはヒグマが確認されたことはありますが、明らかにヒグマよりも小さい...そしてなんか細長い...(写真左) さて、この動物の正体、皆様お分かりになりますか? **正解は裏面右上で!**

高原温泉沼めぐり 登山コースの様子

高根ヶ原斜面に見られるヒグマもほとんどいなくなってきました。



表ページの答え合せ

高原沼でスタッフが見た生き物はなんとシマリスさんでした！ シマリスって泳ぐんですね！！



湯の沼下の登山道補修と木道設置。
私たちの整備は、歩行により崩れてしまう道や風景を守り、生態系を保全するために行います。



劇的！空沼ビフォー・アフター



沼巡り登山コースの中でも特に変貌著しい空沼。もうすっかり水がなくなっていました…



緑沼は相変わらずの美しさです。

ヨツバヒヨドリに止まるクジャクチョウ



咲く花の種類が変わり、やってくる虫達も季節ごとに少しずつ変わります。



ヒグマの影響で閉鎖していた右回りコースも再開。木道設置等の整備も進めます。



高原温泉
ヒグマ情報センター



巡視中にヒグマの姿自体を見ることは少なくなりましたが、登山道には足跡や食痕などの痕跡がまだあります。

大雪山国立公園高原温泉
沼巡り登山コース
第7号(8月29日)
発行：ヒグマ情報センター